



統合移転事業環境監視調査十周年記念フォーラム開催

九州大学創立百周年・統合移転事業環境監視調査十周年記念フォーラム
九州大学移転事業における環境保全の取組み ～都市と大学のサステナブルな環境づくり～

概要

九州大学は 2011 年に創立百周年を迎えました。また、産学官の連携のもとで本学が進めている伊都新キャンパスへの移転事業について、独自の環境影響評価に基づいて実施している監視調査が 10 年を迎えました。これをひとつの節目として、記念フォーラムを開催いたします。

九州大学における環境保全の取組みと調査の実績および成果を紹介し、開発のありかたと持続可能な環境づくりについて議論したいと考えています。

背景

- 九州大学では、国際的・先進的な教育・研究拠点の形成による世界レベルの研究大学を実現するため、福岡市西区及び糸島市に広がる 275ha の新しいキャンパスを建設中であり、平成 17 年 10 月の移転開始後、現在、学生・教職員合わせて約 1 万 2 千人が集う九州大学で最大のキャンパスとなっています。
- この移転事業による環境への影響を監視するため、平成 12 年 6 月の造成工事着手と共に行っている環境監視調査が 10 年を迎えたことから、これまで蓄積した知識と経験を発信するため、取組のとりまとめの一環として標記のフォーラムを開催するものです。

内容

- 日 時：2011 年 7 月 9 日（土）14:00～17:00（13:00 開場）
- 会 場：福岡市庁舎 15 階 講堂（福岡市中央区天神 1-8-1）
- プログラム：
 - ご挨拶 有川節夫 九州大学総長
松本 龍 環境大臣
 - 基調講演 浅野直人 福岡大学法学部教授（環境法・環境政策、民法学）
 - 取組みの紹介とディスカッション
パネリスト 矢原徹一 九州大学大学院理学研究院教授（生態学）
広城吉成 九州大学大学院工学研究院准教授（地下水環境学）
田中壽夫 福岡市教育委員会 埋蔵文化財第 2 課長
平野照実 福岡グリーンヘルパーの会（市民ボランティア代表）
 - 司 会 坂井 猛 九州大学新キャンパス計画推進室教授・副室長（都市計画）
 - 総 括 今泉勝己 九州大学理事・副学長（九州大学新キャンパス環境監視委員会委員長）

今後の展開

- 今後も事業が竣工するまでの間、環境保全措置及び環境監視調査を継続すると共に、これまでの取組から得られた知見を他の開発事業の有効な先進事例として役立てられるよう公表していきます。

【お問い合わせ】

新キャンパス計画推進室教授 坂井 猛
電話：092-642-2208
FAX：092-642-2209
Mail：sakai@kyudai.jp